

▼ウェイリス錠 [内]

【重要度】	【一般製剤名】	リルザブルチニブ	Rilzabrutinib	【分類】	ブルトン型チロシンキナーゼ阻害剤
【単位】	▼400mg/錠				
【常用量】	1回 400mg を1日2回				
【透析患者への投与方法】					
【保存期	CKD 患者への投与方法】				
【特徴】	ブルトン型チロシンキナーゼ（BTK）に可逆的に共有結合して BTK 活性を阻害することにより，B 細胞による自己抗体産生及び Fcγ 受容体を介した食食を阻害し血小板減少を抑制する．持続性及び慢性免疫性血小板減少症に適用．酵素特異性が高くオフターゲット活性が低い．				
【主な副作用・毒性】					
【安全性に関する情報】					
【F】					
【tmax】					
【代謝】	CYP3A で代謝（1）				
【排泄】					
【t1/2】					
【蛋白結合率】					
【Vd】					
【MW】	665.76				
【透析性】					
【OW 係数】					
【肝障害患者への投与方法】					
【小児 CKD 患者における報告】					
【妊婦・授乳婦への投薬】					
【主な臨床報告】					
【更新日】	20260820				

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。